



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 リズム時計工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 樋口 孝二
(コード番号 7769 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 奥田 伸一郎
(TEL 048-643-7213)

特別損失の計上及び平成 29 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期におきまして、下記の通り平成 28 年 11 月 8 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、平成 29 年 3 月期第 4 四半期におきまして、下記の通り特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,000	650	900	700	7.38
実績値 (B)	33,332	851	956	1	0.02
増減額 (B-A)	332	201	56	△699	
増減率 (%)	1.0	30.9	6.2	△99.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	33,338	553	769	1,053	10.42

※A：平成 28 年 11 月 8 日公表値

2. 差異の理由

平成 29 年 3 月期通期業績につきましては、接続端子事業ならびにプレジジョン事業が好調に推移したこと、電子事業が営業損失から回復したことにより、売上高・営業利益・経常利益ともに予想を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、投資有価証券売却による特別利益がありましたが、下記の特別損失計上により、予想を下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上について

(1) 連結子会社の海外ウォッチ販売事業撤退による一連の費用計上について

平成 29 年 4 月 19 日に公表いたしました海外ウォッチ販売事業からの撤退に伴いまして、棚卸資産の評価損、固定資産の減損および事業撤退関連費用を事業撤退損として 596 百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 固定資産減損損失の計上について

当社電子事業の日本国内において、営業活動から生じる損益が二期連続してマイナスとなり、減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として 336 百万円を特別損失に計上いたしました。

以上